

働く人の声を届けます

【山形労働局】

仕事の魅力発信!

「警備」の仕事について、どんなイメージを持っていますか？
チャレンジしてみたいけれど、実態がわからなくて不安…、
という方も多いのではないのでしょうか？
そこで、実際に「警備」の現場で働いている方々にお話を伺いました。
現場のリアルな声を通して、「警備」の仕事の魅力をお伝えします。

敬 言 備

Security guard workers
Real voice!

定年後のチャレンジ! 「地域貢献」を続けたい想いで。

株式会社TTKエンジ山形
交通誘導警備員(2年目)



銀行員として40年勤務後、企業に出向し65歳で退職しました。退職後も元気で、老々介護もあったのでこの年齢で働ける仕事を探していました。銀行員時代から仕事の原動力だったのが「地域貢献がしたい」という想い。今後も「地域貢献」を続けたいと思っていた所ご縁があり、警備の仕事に従事し、電気通信設備工事等の交通誘導を行っています。

銀行員の時は教える立場でしたが、今は教えられる立場。単純なことですが、挨拶を基本にコミュニケーションを大事にしてきたおかげで、現在もチームでの仕事が上手くできています。初めは慣れないこともあり苦労しましたが、親切に教えてくれる先輩方のおかげで無事に仕事を覚え、活動できています。地域の人との対話も大事にしており、子どもたちとの会話も励みになります。地域貢献できていると実感できることがやりがいですね。また、土日休みで17時に勤務終了となる勤務体制も、趣味のスポ少の指導を続けるのに非常に有益であります。

大変と思われがちな警備業。 充実した制度で働きやすい!

株式会社TTKエンジ山形
管制業務(4年目)

道路での電話工事の際、事故が無いように一般車の誘導をするのが当社の警備員。自分も初めは現場に出ていましたが、今は内勤で、工事に必要な警備員の人員手配を行っています。

共働きなので、妻と手分けしながら子ども3人を育てています。警備業という大変と思われがちですが、当社では時間休が利用できるのも、子ども達を学校や保育園に送ってから出勤できますし、子どもの発熱等で急に休んだ時は上司がフォローしてくれるので、仕事の心配をせず子どもの対応ができ、大変ありがたいです。育休や看護休暇制度は男女関係なく取得できますし、育休を利用して復帰している女性社員も多いです。自分も今度子どもが産まれたら、是非育休を利用したいと考えています。また、宿泊やレジャー施設利用料等を実費補助してくれる制度もあり、子どもと一緒にキャンプで利用させていただいています。職場環境や人には恵まれていると、自信を持って言えます!



仕事の魅力発信!

security guard workers
Real Voice!

警備

「何事も無い」がやりがい。 誇りある警備員の仕事!

山形警備保障株式会社
施設警備員 (2年目)



工場での常駐警備員として、敷地内への出入管理、巡回、鍵の管理等を行っています。現場でわからない事があればベテランの方に電話で相談し、対応しています。施設警備の仕事は施設の管理に近いものがあり、施設のトラブル全般に対応します。まれに工場の感知器の誤作動等が重なって忙しくなる事もありますが、何事も無い日は通常業務で穏やかに過ぎていきます。このように日毎の緩急が激しい仕事ではありませんが、トラブルもなく何事も無い日を終えて帰路に着く時に、この「何事も無い」が警備の仕事としてのやりがいに繋がるのかな、と思います。

当社は資格取得への支援が手厚く、費用面の負担や有資格者の講習等の支援があり、昨年無事に施設警備2級を取得しました。子どもの行事に合わせてお休みを頂けるので、子どもとの時間がたくさん作れています。金銭面でも配偶者手当、子ども手当も手厚く感謝しております。

警備員は定年後も継続して働ける業種ですし、お客様からもニーズがある、人のためになる誇りある仕事です。私も誇りをもって警備員の仕事をしています。今後もっと警備の仕事に「憧れ」を抱いてもらえるよう、お客様のニーズを聞いたうえで警備員のスキルアップやイメージアップに繋がっていきたくと思っています。

社会に求められる大切な仕事。 業界への理解も進んでいます。

クレーンヒル警備株式会社
交通誘導警備員 (19年目)

工事での交通誘導や花火大会等のイベント祭事での雑踏警備等、様々な警備の現場を経験し、現在は国道や高速道路で職長として交通誘導に携わっています。警備員は交通規制に特別な権限は持ちませんが、安全に対する責任があります。また、現場の第一印象を決める重要な立場。安心と納得感を感じてもらえるように、会釈で対応する事と、一つの対象物にとらわれない「3秒原則」を心がけています。

最近では依頼主の方々から謝意の言葉を頂く事が増えました。工事終了後に現場責任者の方から「発注者から誘導も含め高い評価を受けた」とのお言葉を頂けたり、一般の方からも笑顔で挨拶をして頂けたり、助手席の窓から労いの言葉と共に缶コーヒーを下さったり、嬉しく印象に残っています。我々の業務を理解してくれる方が多くなったと感じます。昔に比べ、警備員1級、2級の資格を取得し基本理念や実技を習得した警備員が増えたことで評価が高くなっていると思います。賃金や賞与、社会保険制度などもしっかりとってきました。警備はこれからも社会的に求められる大切な業務。業界に若手の方々から新しい空気を入れてもらい、笑顔ある職場作りに参加して欲しいです。そうすれば、もっと新しい形の安心安全な社会作りにも貢献できると思います。

